

1

「.JP（日本のサイバー空間）を守る」 待ちから先回りの対策へ

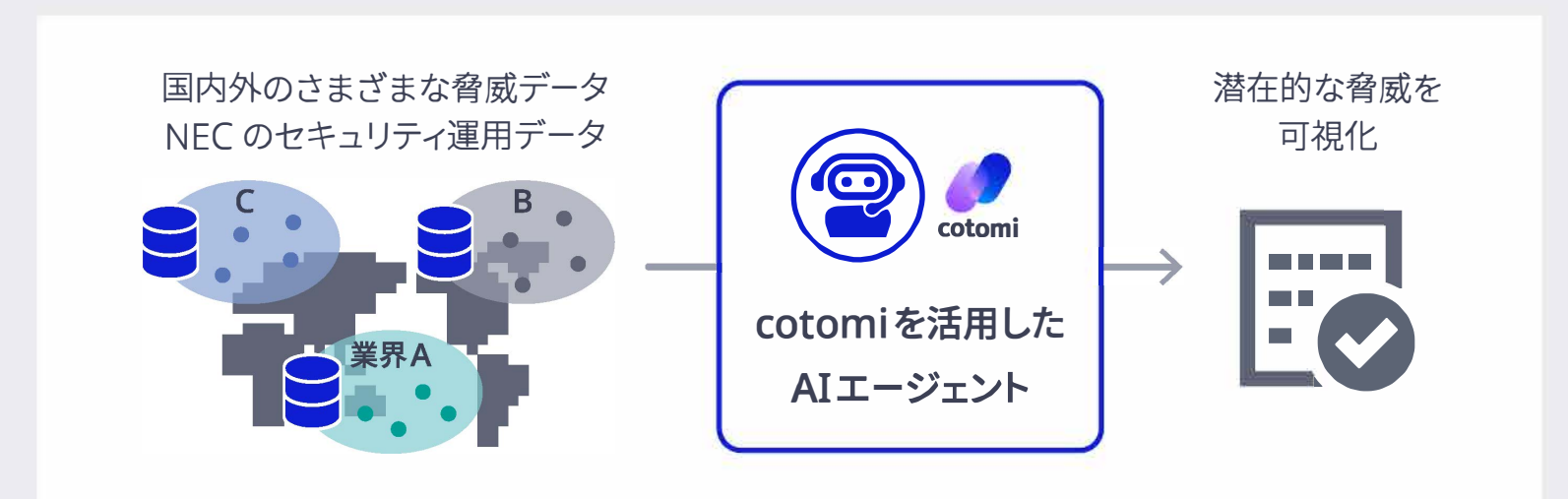
サイバー攻撃の予兆を把握し対策する、 cotomiを活用した次世代セキュリティAIエージェント

課題・背景

サイバー攻撃の急増と手法の多様化に対し、事業継続性の確保が強く求められている。従来は、システムを構成する機器ごとに脆弱性の危険度や対策の要否を判断。対策箇所が膨れ上がる一方、システム全体や事業への影響を考慮した効果的な対策は困難。

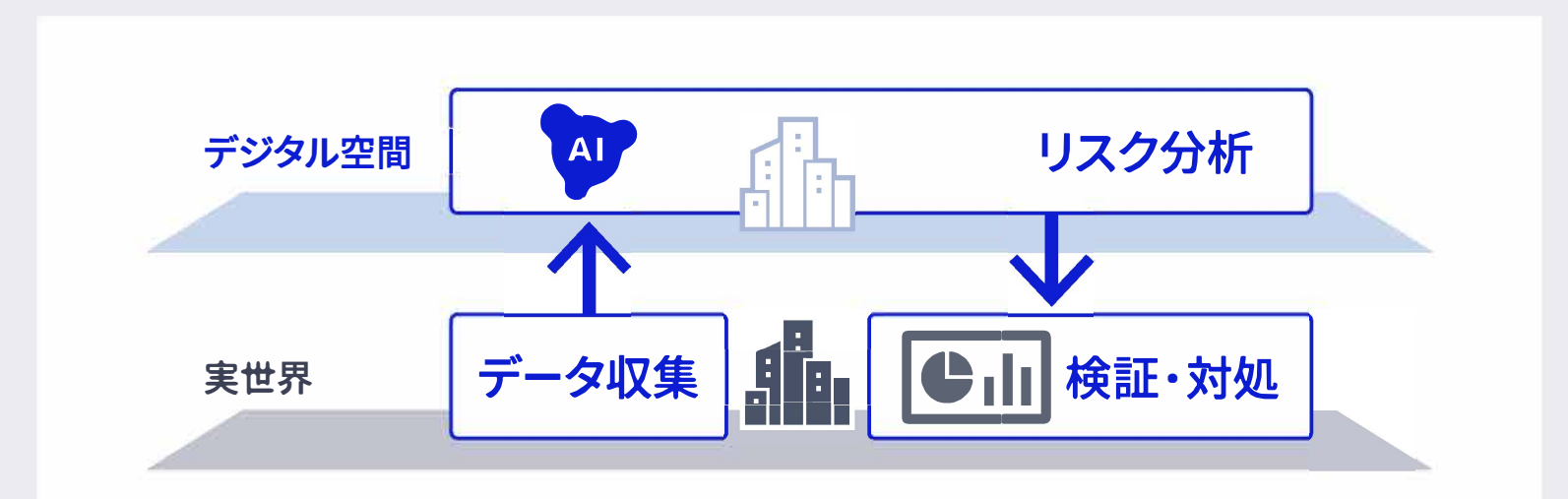
最優先で対処すべき脅威を選別

国内外から収集した様々な業種・企業に関連する脅威情報とNECのセキュリティ運用データをAIエージェントが分析し、潜在的な脅威を可視化。



事業を妨げないセキュリティリスク診断

診断対象の情報システムをデジタルツイン上で再現し、自動で診断。実システムに影響を与えることなく安全に検証・対策立案ができる。



対策の優先度を経営視点で判断可能に

複数のシステムや重要設備に対し、攻撃を受けた場合の想定被害額をAIエージェントが推定。被害を数値化することで、経営者は対策の優先順位を迅速に判断可能。

